

ブロック名：体液・腎

月日	曜日	時限	授業タイトル	講義担当者		授業終了後に説明できる事項	事前学習
				氏名	所属		
7.16	火	I	腎臓・尿路のマクロ構造	水嶋 崇一郎	人体構造	1. 腎臓の位置および腎臓と血管、尿管の関係 2. 腎臓の被膜と腎臓の構造 3. 尿管、膀胱、尿道の全体構造 4. 男性と女性の尿道の差異	教科書該当部位を一読しておくこと。
"	"	II	腎臓のミクロ構造-1	池森 敦子	機能組織	1. 腎臓の皮質と髄質の区別 2. ネフロンの定義 3. 腎小体と傍糸球体装置の構造	尿が何から、腎臓のどこで作られるか理解する。
"	"	III	体液の区分と組成、糸球体過剰の調節	"	"	1. 体液の分布と組成 2. 糸球体過剰の調節 ・尿管系糸球体フィードバック ・レニンアンジオテンシン系 ・筋原反応	体液を理解する。
7.17	水	I	腎臓のミクロ構造-2	"	"	1. 尿管・集合管を構成する細胞の形態的特徴	腎臓内における尿の流れを理解する。
"	"	II	尿管・集合管の機能	"	"	1. 近位尿管の再吸収 2. ヘンレのループと集合管での尿の濃縮 ・対向流機構 ・抗利尿ホルモン (ADH, バソプレッシン) ・尿素のリサイクル	腎臓で尿を濃縮するには、どうすればよいでしょうか。
"	"	III	体液・浸透圧	幸田 和久	統合生理	1. 血漿浸透圧、膠質浸透圧、張度 2. 浸透圧調節 3. 体液量調節	7月16日3時間目で行った体液の分布と組成について、復習しておく。
7.19	金	I	水・ナトリウム代謝、カリウム代謝	池森 敦子	機能組織	1. 尿管・集合管でのNa再吸収機構 2. 細胞内外の水の移動 3. 尿管・集合管でのK輸送	7月17日1時間目で行った尿管・集合管について復習しておく。
"	"	II	酸塩基平衡の調節、排尿反射	幸田 和久	統合生理	1. 緩衝系についての腎臓の役割 2. 体液水素イオン (pH) 濃度を維持する腎・肺の役割 3. アンダーソン、アルカローシス 4. 排尿反射 (脊髄反射)	高校生レベルの物理化学生体、医系自然科学の内容
"	"	III	泌尿器系の発生	池森 敦子	機能組織	1. 前腎・中腎・後腎 2. 尿管芽と後腎閉塞 3. 中腎管 (Wolff管) と中腎傍管 (Muller管)	成人の体内における腎臓、精巣、卵巣の位置を理解する。